

地震災害予測研究会（第8回）議事要旨

日 時：平成25年7月1日(月) 14:00～16:00

場 所：損保料率機構 29階 L1L2 会議室

出席者：（順不同、敬称略）

（委員）北川良和 翠川三郎

和泉正哲 緑川光正 林康裕 境有紀

（機構）尾上(理事) 杉本(リスク業務室長) 市川(火災・地震保険部長)

丸楠(火災・地震保険部地震グループリーダー)

（事務局）損保料率機構リスク業務室

議 事：

1. 住宅の損壊被害予測手法に関する研究について

A. 研究事業の委託先より、地震保険実績データや既往の知見に基づいて設定した復元力特性やパラメータを用いた地震応答解析から、地震動の周期特性を考慮した地震動強さを横軸とした建築年代や建物構造の区分毎の被害関数を報告した。

B. 委員から、下記の意見があった。

- 1) 地震応答解析に使う復元力特性やパラメータは、建築年代間、建物構造間など、全体的なバランスを考慮して設定されたい
- 2) 地震動強さの設定に関しては、地震応答解析における建物の等価周期の取り方について、既往の研究を踏まえた考え方を整理されたい。

以 上